芳賀赤十字病院
臨床研修ガイド

芳賀赤十字病院の概要

設 立 母 体：日本赤十字社

設立年月日：昭和24年7月1日

所　在　地：栃木県真岡市中郷271

病　院　長：本多　正徳（放射線科）

病　床　数：364床（うち感染病床4床）

標 榜 科

内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科
循環器内科、血液内科、アレルギー科
リウマチ科、小児科、外科、小児外科
形成外科、乳腺科、消化器外科
心臓血管外科、整形外科、脳神経外科
耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、皮膚科
泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科
麻酔科、救急科、精神科、歯科、歯科口腔外科
（全２９科）

患者数等DATA （令和元年度実績）

一日平均入院患者数：306.0名

一日平均外来患者数：634.0名

救急患者総数　：9,007名

救急車搬送件数：4,175件

平均在院日数　：12.0日

分　娩　件　数　：316件

職員数と医師数

総 職 員 数：696名
（令和2年4月1日現在）

常勤医師数：66名
（歯科医師を含む）

指 導 医 数：経験年数７年以上　34名
（内指導医養成講習会修了者　24名）

医師の主な出身大学

主な出身大学：自治医科大、獨協医科大
旭川医科大、札幌医科大、弘前大、岩手医科大
秋田大、山形大、新潟大、福島県立医科大、群馬大
筑波大、日本大、埼玉医科大、日本医科大、昭和大
東京大、東京医科大、北里大、東京慈恵会医科大
防衛医科大、東京医科歯科大、信州大、山梨医科大
浜松医科大、藤田保健衛生大、愛知医科大、金沢大
三重大、岡山大、島根大、鳥取大、富山大、広島大
香川大、徳島大、高知大、産業医科大、佐賀大
大分大、宮崎大、鹿児島大、琉球大など

医療機関指定状況等

救急告示病院（二次救急医療機関）
病院群輪番救急病院
災害拠点病院※DMAT指定病院
地域周産期母子医療センター
エイズ診療拠点病院、へき地医療拠点病院
栃木県脳卒中地域拠点医療機関、
肝疾患専門医療機関 、小児救急拠点病院
ＤＰＣ対象病院、地域医療支援病院
栃木県がん治療中核病院
第二種感染症指定医療機関、地域がん診療病院

地域に信頼される病院であるために

病院理念

「地域に貢献する病院」

基本方針

1 患者中心の医療
2 安全で質の高い医療
3 赤十字の使命に基づいた社会貢献

医療圏と当院の特徴

- 栃木県真岡市を中心とする、芳賀郡市１市４町１５万人の住民の、唯一で最大の医療機関。隣県の茨城県からの患者も多く受入れている。

一次および三次医療機関との連携が良く、月平均３５０件を超える救急車搬送患者を受入れる急性期病院

（医師一人当たりの受入数県内1位）

- 特に、ハイリスク分娩・低体重児等の周産期にかかる比較的高度な医療を提供している**周産期医療機関**

芳賀赤十字病院の初期臨床研修の目標

医師である前に一人の人間であることを意識しながら、医師としての人格・技術を涵養し、将来の専門性にかかわらず、地域に暮らす人々の医療ニーズに応えながら、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけ、さらに、患者の意思を尊重し安全な医療が提供できる、全人的な診療能力を持った医師を養成する。

指導責任者と連携施設（病院）

研修管理委員長　：村上 善昭（副院長 内科）
プログラム責任者：渡辺 尚（副院長 産婦人科）

連携施設（病院）

- 精神科：自治医科大学附属病院、市中病院
- 臨床病理検討会：自治医科大学附属病院
- 地域医療：県内各保健所、地域の診療所
  芳賀赤十字訪問看護ステーション

プログラムの特徴

内科系、消化器系、外科系、救急、麻酔、周産期を病棟ごとに８グループに分け、厚生労働省の

研修目標の90%（卒後研修の第三者評価機構実施の評価病院平均値）に到達できる構造

※当院研修であれば９５％以上は当たり前！！

ローテート研修ですべてのグループに指導医講習会修了の指導医を配置し**病院全スタッフ（医師・コメディカル・事務）がサポート**

それぞれの科の**専門医**から指導を受けます

２年間の研修スケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科系（循環器・腎臓・呼吸器・神経・血液・一般）						消化器系（消化器内科・消化器外科・一般外科・泌尿器科）			救急部門		麻酔科
2年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	外科系（整形・脳外・耳鼻・皮膚・眼科）			周産期（産婦領域）	周産期（小児領域）		精神	地域医療	地域保健	選択	選択	選択

※研修の比重をどこの症例群におくか、指導スタッフと研修医とで決める。

※研修医のニーズに柔軟に対応するために、ローテートを多様化。

日本赤十字社

ローテートの柔軟性

	1年目									2年目														
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A医師	内科系（中5・北5）			消化器系（南4）			外科系（整形）		外科系（脳・耳・歯）	内科系（中5・北5）			救急・麻酔（救外・Ope室）			産婦・眼（中3）		小児（南3）	地域医療		精神	選択	選択	選択
B医師	内科系（中5・北5）			内科系（中5・北5）			救急・麻酔（救外・Ope室）			消化器系（南4）			外科系（整形）		外科系（脳・耳・歯）	地域医療		精神	産婦・眼（中3）		小児（南3）	選択	選択	選択
C医師	消化器系（南4）			救急・麻酔（救外・Ope室）			外科系（整形）		外科系（脳・耳・歯）	内科系（中5・北5）			内科系（中5・北5）			精神	地域医療		小児（南3）		産婦・眼（中3）	選択	選択	選択
D医師	救急・麻酔（救外・Ope室）			消化器系（南4）			内科系（中5・北5）			内科系（中5・北5）			地域医療		精神	小児（南3）		産婦・眼（中3）	外科系（脳・耳・歯）		外科系（整形）	選択	選択	選択
E医師	消化器系（南4）			内科系（中5・北5）			内科系（中5・北5）			救急・麻酔（救外・Ope室）			小児（南3）		産婦・眼（中3）	外科系（脳・耳・歯）		外科系（整形）	精神		地域医療	選択	選択	選択

「臨床研修の到達目標」達成度チェック表：平成20年度3月26日省令施行通知（別添1）に基づく

平成27年度採用研修医　最終達成状況

研修目標		達成状況（評価B以上）		必要とされる達成度／必須項目
		指導医評価	自己評価	
Ⅰ　行動目標	（1）患者・医師関係	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（2）チーム医療	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（3）問題対応能力	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（4）安全管理	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（5）症例提示	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（6）医療の社会性	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
Ⅱ　経験目標	A　経験すべき診察法・検査・手技　（1）医療面接	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（2）基本的な身体診察法	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（3）基本的な臨床検査	100.0%	100.0%	1）．A項目（20項目中4項目）：自ら実施し、結果を解釈できる（受持症例でなくても良い） 2）．下線の検査（20項目中15項目）について経験があること（「経験」とは受持患者の検査について診療に活用すること）
	（4）基本的手技	100.0%	100.0%	下線の手技（19項目中18項目）を自ら行ったことのあること
	（5）基本的治療法	100.0%	100.0%	行動目標（個別目標）の各項目に関して、適切に達成されたことを確認すること
	（6）医療記録	100.0%	100.0%	＜必須項目＞ 1）．診療録の作成　2）．処方箋・指示書の作成　3）．診断書の作成　4）．死亡診断書の作成　5）．CPCレポート（剖検報告書）の作成、症例提示　6）．紹介状、返信の作成 ※上記1）～6）を自ら行った経験があること
	（7）診療計画	100.0%	100.0%	
	B　経験すべき症状・病態・疾患　1．頻度の高い症状	100.0%	100.0%	下線の症状（35項目中20項目）を経験し、レポートを提出すること（「経験」とは自ら診療し、鑑別診断を行うこと）
	2．緊急を要する症状・病態	100.0%	100.0%	下線の病態（17項目中12項目）を経験すること。
	3．経験が求められる疾患・病	100.0%	100.0%	1）．A疾患（88項目中10項目）については入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出すること。 2）．B疾患（88項目中38項目）については外来診療又は受け持ち入院患者（合併症を含む）で自ら経験すること。 3）．外科症例（手術を含む）を1例以上受け持ち、診断、検査、術後管理等について症例レポートを提出すること。 4）．全疾患（88項目）のうち70%以上を経験することが望ましい（A疾患10項目およびB疾患38項目を含む）。
	C　特定の医療現場の体験			＜全項目共通＞　現場の体験とは、各現場における到達目標の項目のうち1つ以上を経験すること
	（1）救急医療	100.0%	100.0%	＜必修項目＞救急医療の現場を経験すること
	（2）予防医療	100.0%	100.0%	＜必修項目＞予防医療の現場を経験すること
	（3）地域医療	100.0%	100.0%	＜必修項目＞へき地・離島診療所、中小病院・診療所等の地域医療の現場を経験する
	（4）周産・小児・成育医療	100.0%	100.0%	＜必修項目＞周産・小児・成育医療の現場を経験すること
	（5）精神保健・医療	100.0%	100.0%	＜必修項目＞精神保健福祉センター、精神病院等の精神保健・医療の現場を経験する
	（6）緩和・終末期医療	100.0%	100.0%	＜必修項目＞臨終の立ち会いを経験すること
	（7）地域保健	100.0%	100.0%	地域保健を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、保健所、介護老人保健施設、社会福祉施設、赤十字血液センター、各種検診・健診の実施施設等の地域保健の現場を理解し実践する。

日本赤十字社

研修到達目標

８８疾患中当院では

95％以上は必ず達成できます

（31年３月修了研修医100％達成）

疾患・病態例

・脳・脊髄血管障害 ・骨粗しょう症・白血病・心不全
・悪性リンパ腫・狭心症、心筋梗塞・認知疾患・心筋症
・変形疾患（パーキンソン病）・呼吸不全・脳炎・髄膜炎
・呼吸器感染症・湿疹、皮膚炎群・小腸、大腸疾患
・皮膚感染症・腎不全・骨折・妊娠分娩・副腎不全
・白内障、緑内障・中耳炎・統合失調症・ウィルス感染症
・アレルギー疾患・肺循環障害・小児喘息、小児けいれん性疾患
・高齢者の栄養摂取障害・蛋白及び核酸代謝異常（高尿酸血症）

芳賀赤十字病院の初期研修のポイント

県東医療圏で唯一の２次医療機関であるため、数多くの幅広い症例を経験できる。

診療科間の連携が良いため、たとえば内科で研修中にも外科や整形外科の指導が受けられる。

１次医療機関および３次医療機関との連携が良いため、患者さんを断片的ではなくトータルに診ることができる。

すなわち、専門的な知識や技術を吸収しつつ、多くの患者さんをいろいろな視点から総合的に診療することが可能。

指導医からのメッセージ

当院での研修の特長

① 診療科間の連携がよく、**診療科の垣根を越えた指導を受けられる**

② 一次医療機関、三次医療機関との連携がとれているため**患者さんをトータルに診ることができる**

③ 医師及びメディカルスタッフとの協力体制が整備されており、**医師として社会人として皆さんをサポートできる**

（臨床研修管理委員長

副院長兼第一内科部長　村上　善昭）

指導医からのメッセージ

① できるだけ多くのハイリスク妊産婦を受け入れ、またローリスク外来も行っており、**正常妊娠からハイリスク妊娠の管理を幅広く経験できる**

② 手術研修では、子宮筋腫などの良性婦人科疾患だけではなく**異所性妊娠や卵巣腫瘍茎捻転などの緊急手術にも参加できる**

③ 一般病院ならではの多種多様な訴えを持つ患者の相手をすることで**大学病院ではできない経験ができる**

（プログラム責任者

副院長兼第一産婦人科部長　渡辺　尚）

指導医からのメッセージ

① 外科系標榜科が多くあり、全身（開心術心以外）の外科治療に対応している

② 月に300～400件も救急搬送があるため、外傷・急性腹症産婦人科系救急等の緊急手術が多い

③ 研修医は検査（超音波、内視鏡等）、手技（CVカテ、各種穿刺等）、手術（外傷、開閉腹、ヘルニア、虫垂炎、胆嚢摘出、骨折・抜釘手術、小開頭等）、麻酔手技（気管内挿管、腰椎麻酔等）を術者や第一助手で経験できる

④ 多数の症例に適度な人数の研修医で多くの手技が経験でき「2ヶ月間で気管内挿管100例」といった強者までいる

（臨床研修管理副委員長　手術部長　俵藤　正信）

研修医からのメッセージ

当院で研修を始めて・・・

① 各診療科が充実しており、**ほぼ全ての科をローテートできる**

② 豊富な症例のもと、先生方の熱心な指導のおかげで各科で中身の濃い研修ができている

③ 患者数に対して研修医が少ないため、安全に配慮しながらも数多くの経験をさせてもらっている

④ 先生方やコメディカルの方々、先輩や事務の方々、地域の方々に支えられてよい研修ができている

（平成28年度採用研修医）

研修医からのメッセージ

当院の研修の特長

① 大学病院からいらっしゃる熱意と指導力の溢れる先生から**マンツーマンで指導を受けることできる。**

② 芳賀地区の中核病院であり、診療科も豊富であり症例に困ることなく、**大学病院と市中病院のそれぞれいいとこ取りの研修をすることができる。**

③ 当院は院長先生や指導医の先生方はもちろんのこと、看護師さんや検査技師さん、事務職員さんまで**全てのスタッフの方が研修医を大切にしてくれて、育てようと一生懸命になっている。**

（平成29年度採用研修医）

日本赤十字社

研修医からのメッセージ

当院の研修の特長

①手技を経験できる機会が多い

手術だけではなく、心カテ検査、内視鏡検査、超音波検査、気管挿管、骨髄穿刺、腰椎穿刺･･･などなど数々の手技を経験できるので、手技を一通りやってみてから専攻の科を決めたいというような方には強くおすすめします

②たとえ研修の開始後であっても、希望がでてくるとそれに見合ったプログラムやローテートを組み直してもらえる

研修医が少人数であることに加えて、自治医科大学病院や芳賀地区の他の医療機関とも連携しているため幅広い選択肢の中から、個々の希望に沿った研修をフレキシブルに組んでもらえるのです。

◎当初は、研修医の同期が大学病院と比べて少なく心配　だったのですが、コメディカルの同期も多く、心細さを感じることはありませんでした。ぜひ初期研修に芳賀赤十字病院を選んでいただければと思います。

（平成30年度採用研修医）

処遇等

身　　分：研修医（常勤嘱託職員）
募集定員：５名
研修手当：１年次400,000円（税込み）
　　２年次450,000円（税込み）
賞　　与：有
当　　直：月平均4回程度
休　　暇：有給休暇1年次15日、 2年次21日
（夏期休暇、その他の休暇は、
院内規程により付与する）
社会保険等：健康保険･雇用保険･厚生年金･年金基金等加入
宿　　舎：無　ただし、住居手当あり（上限28,500円）

研 修 環 境

研修医専用室：有

デスク・電子カルテ端末：
個々に貸与されます。

学会・研究会への参加 ：
可 参加費用支給有

健康管理 ：
健康診断年1回実施メンタルヘルスサポートシステムを導入しています。

プライマリケア勉強会

・開催日時
第１週、第３週　水曜日
午前7時30分～（30分程度）
・講師
各診療科医師・コメディカル
看護師も講師を担当
・対象者
研修医、医師、コメディカルを始めとする医療従事者
医療技術系の学生、その他興味のある地域の方など
☆２年間で約４０テーマが学べます。

～　主なテーマ　～

胸痛の診断と治療
心肺蘇生法　G2010
腹腔鏡手術について　part2
食物アレルギー家、学校でどう対応
ロコモティブシンドローム
妊娠と薬

令和元年度プライマリケア勉強会テーマ

月	テーマ	講　師
5月	ベッドサイドにおける意識障害者診療のポイント	神経内科部長
6月	ピロリ菌との使い方	消化器内科副部長
6月	血算	血液科医長
7月	輸血検査の実際	輸血検査係長
7月	メニエール病	耳鼻咽喉科部長
8月	乳がん看護 ー診断時のケアについてー	乳がん看護認定看護師
9月	喫煙・禁煙	第一内科医師
10月	心不全	循環器内科医師
10月	小児救急	第一小児科医師
11月	小児の骨折	整形外科医長
12月	外傷初期診療①	第一外科医師
1月	骨粗鬆症	整形外科部長
2月	自動聴性脳幹反応について	生理検査係長
2月	外傷初期診療②	第一外科医師

さまざまなテーマで開催しています

関連学会認定状況

○日本内科学会教育関連病院

- 日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会教育関連施設
- 日本感染症学会研修施設

関連学会認定状況

○日本小児科学会小児科専門医制度研修施設
- 日本小児循環器専門医修練施設群認定施設
- 日本アレルギー学会専門医準教育施設

○日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本周産期･新生児医学会周産期専門医制度母体胎児専門医指定研修施設（指定研修施設）

○日本臨衛生検査技師会精度保証施設

関連学会認定状況

○日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本大腸肛門病学会専門医修練施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- マンモグラフィ検診施設画像認定施設

○日本整形外科学会専門医研修施設

関連学会認定状況

○日本泌尿器科学会専門医教育関連施設
○日本救急医学会救急科専門医指定施設
○日本麻酔科学会麻酔科認定病院
○日本脳卒中学会認定研修教育病院
○日本眼科学会研修施設
○日本医学放射線学会専門医修練機関
○日本口腔外科学会関連研修施設
　・日本小児口腔外科学会研修施設

研修医修了式

平成31年度採用研修医
修了式

研修の様子

神経内科研修

耳鼻咽喉科研修

消化器内科研修

麻酔科研修

研修の様子

眼科研修

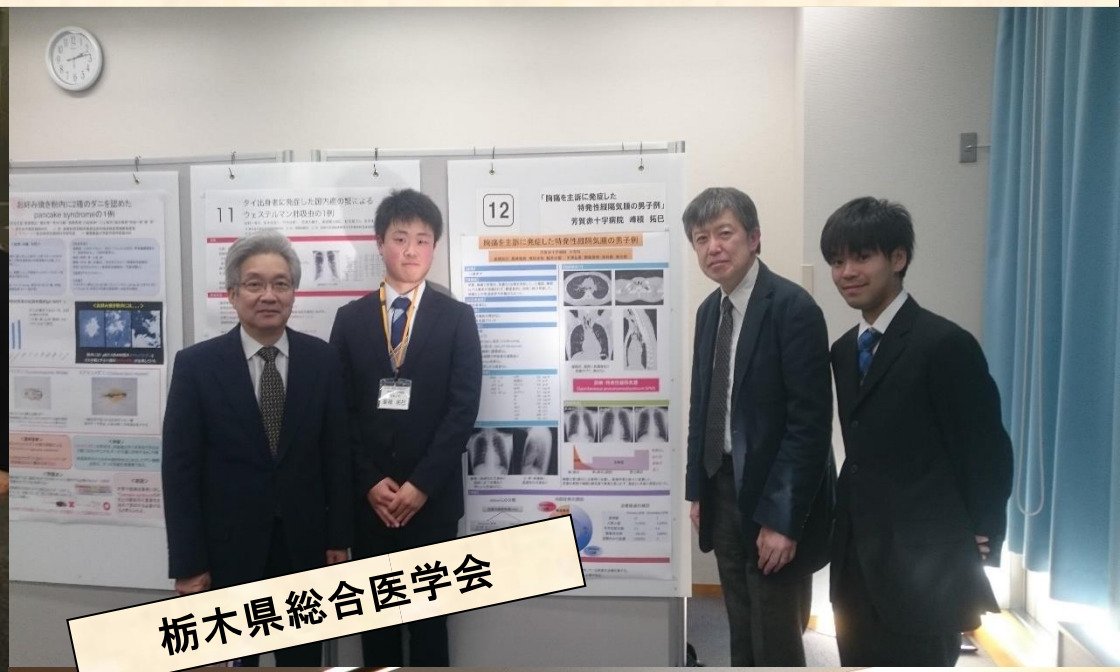
血液科研修

検査部研修

循環器内科研修

研修の様子

日赤医学会



栃木県総合医学会

病診連携懇話会

修了式での発表

病院の様子

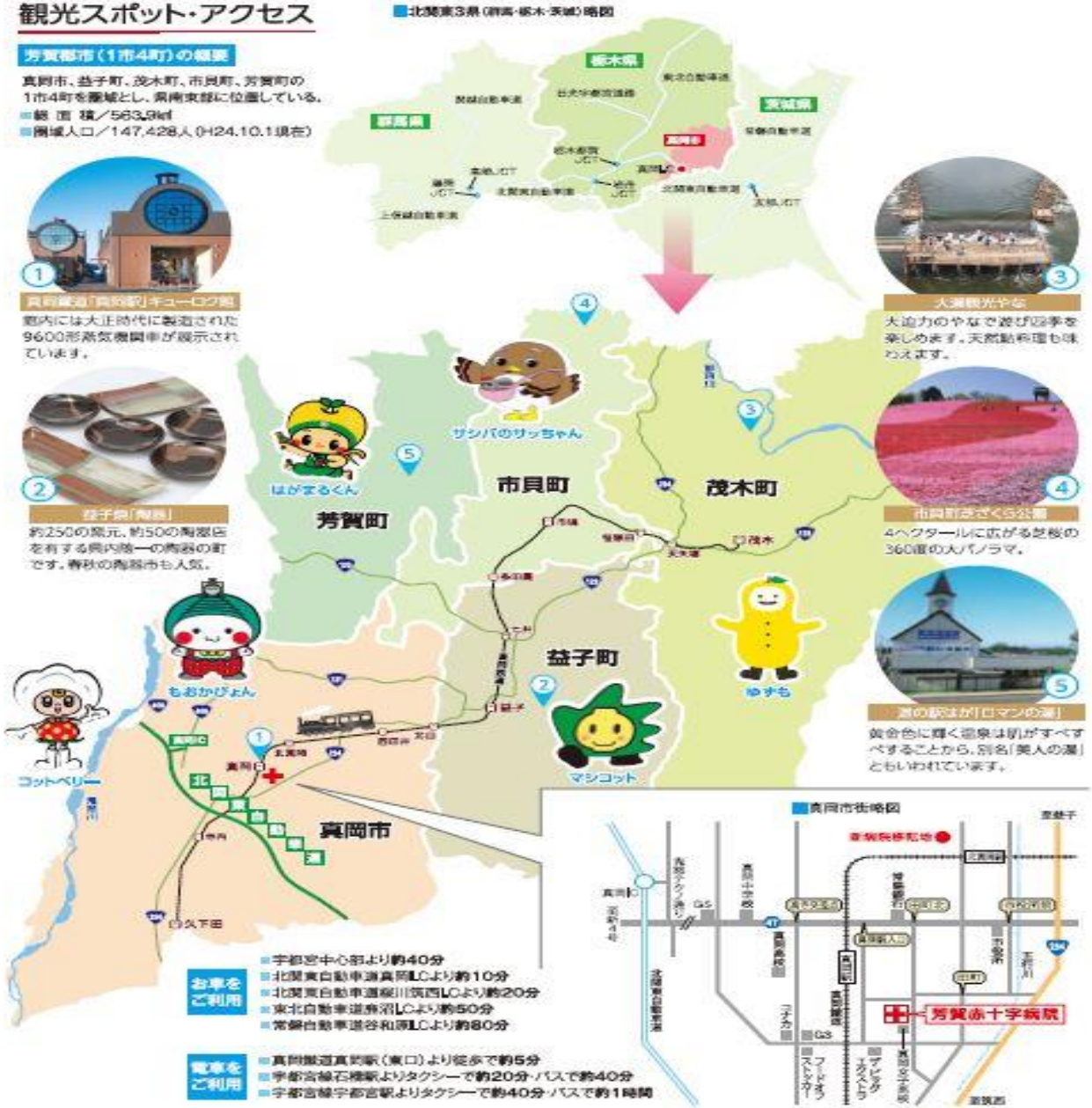
芳賀郡市1市4町［栃木県東保健医療圏］のご案内

観光スポット・アクセス

芳賀郡市（1市4町）の概要

真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町の1市4町を圏域とし、県南東部に位置している。

- 総 面 積／563.9㎢
- 圏域人口／147,428人（H24.10.1現在）



赤十字精神（人道・博愛）に基づく Policy.

赤十字の使命に基づいた社会貢献

災害救護 | 赤十字の活動

災害救護活動は、赤十字の人道的使命感に基づいて行われます。自然災害や人的災害など大規模災害発生時に、医療救護班を現地に派遣できるよう備えています。災害が発生した際に、いつでも全国へ出動できるよう、常備救護班を3個班編成しています。

また、日頃から赤十字救護員としての質の向上に勤めているほか、赤十字事業の推進者として赤十字各種講習会を開催し、普及にも努めています。

関東・東北豪雨災害（平成27年）

熊本地震（平成28年）

▶近年の災害活動実績

- **東日本大震災（平成23年3月）**
  発災直後より、日赤救護班及びDMATを被災地（東北地方）へ派遣。
  約半年間、日赤救護班を8個班派遣したほか、石巻赤十字病院の業務支援に看護師・薬剤師を派遣した。
- **関東・東北豪雨災害（平成27年9月）**
  茨城県常総市へ救護班を派遣。
- **熊本地震災害（平成28年4月）**
  熊本県阿蘇郡西原村へ、救護班を派遣。

災害拠点病院・DMAT指定病院

栃木県における災害拠点病院に指定されており、災害発生時には関係機関と協働し、積極的に医療救護活動にあたります。

県内外の地震、台風等の自然災害や、航空機、列車事故等の大規模な事故等が発生した場合に、栃木県知事の要請により、被災した地域へDMAT（災害派遣医療チーム）を派遣し、被災地の医療支援を行います。

医師1名・看護師2名・調整員2名で構成するチームを2チーム編成。

病院見学等問い合わせ先

芳賀赤十字病院　総務課
〒321-4308
栃木県真岡市中郷271
TEL:0285-82-2195
FAX:0285-84-3332
E-mail：jinji@haga.jrc.or.jp